

語彙のリサイクルで英語力をつける

石井 亨

(東京都江東区立深川第八中学校)

1. 週3時間の授業で効果的に語彙指導するには？

週3時間の授業でも効果的に語彙指導をするにはどのような方法が考えられるだろうか。指導した語彙を定着させることができれば生徒の英語力を伸ばすことができるが…。

I. S. P. Nation (2001) *Learning Vocabulary in Another Language* の p.76 ~ p.78 に The spacing of repetitions という章がある。語彙を導入した直後には間隔をあけずに繰り返し、その後、表1のように、徐々に間隔をあけて繰り返すと語彙の定着に有効という内容である。

この表を参考にして、週3時間の授業の中で、教科書の新語を繰り返し指導する回数とスパン、その指導内容を考えてみた(表2参照)。そして、週3時間の授業でも語彙を繰り返すことで効果があるか、授業で実践してみることにした(前任校での実践)。

NEW CROWN 2年 Lesson 8 p.72 を例とすると次のように指導する。

- (1) 新語の提示では単語カードを使い、1語ずつ発音、意味の確認をする。音読できるようにするために発音指導を重視する。

[新語]

children child danger sign seen see
field just like kill landmine Cambodia
Cambodian injure

- (2) 再度、カードで提示した新語 children ~ injure の発音を繰り返す。次の音読のために、ここでも発音指導を丁寧にする。
- (3) 授業の終わり頃に再度カードで新語の発音を繰り返す。ここではカードの英語を見せ、生徒に発音させて発音が定着しているか評価する。指導不足の新語は再度発音指導する。
- (4) 次の授業のために p.72 の単語から復習する語を選ぶ。学習する必要のない語は除く。p.72 では Cambodia, Cambodian を除く。これらの単語はこれからの英語学習で遭遇する頻度が低いと判断する。
- (5) 選んだ p.72 の単語カードを次の授業のはじめ

【表1】

Table 3.4 Pimsleur's memory schedule											
Repetition	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
Time spacing before the next repetition	5 secs	25 secs	2 mins	10 mins	1 hour	5 hours	1 day	5 days	25 days	4 months	2 years

【表2】 ※ 表中 () 内の数字は本文中の指導段階 (1) ~ (10) に対応

語彙指導の回数	1回目 (1)	2回目 (2)	3回目 (3)	—	4回目 (5)	5回目 (6)(7)	6回目 (8)(9)(10)
時間	1語の後に数秒	数分後	1時間後	数時間後	約2日後	約2週間後	約3週間後
指導内容	新語の提示	新語の再提示	授業終わり頃の復習	家庭学習の指示	次の授業での復習	Lessonのまとめでの復習	定着をめざす活動

に復習する。カードの英語を見せて生徒に言わせてみる。発音指導不足の語は再度指導する。全部の語が終わったら、次にカードのウラの日本語を見せて英語を言わせる。この時の生徒の反応で、意味の定着していない語をつかんでおく。

- (6) 今までの生徒の反応から指導を繰り返した方がよい語を選ぶ。そして単元のまとめで、選んだ単語カードの英語を見せて生徒に発音させる。発音指導不足の語は再度指導する。次にカードのウラの日本語を見せて英語を言わせてみる。
- (7) 単元のまとめで、語彙のネットワークを広げるために以下のような様々な方法で指導する。
 - ・ Collocation を考えさせる。例えば、play に続く名詞を生徒から引き出す。
例：play ⇒ tennis, basketball など
 - ・ 既習の反意語や同意語を生徒から引き出す。
 - ・ sign のような発音しない 'g' のある単語を生徒から引き出す。
 - ・ Mapping のように関連語を生徒から引き出す。
例：play — child — mother
- (8) 次の単元 (Zorba's Three Promises) を指導しながら、自作の Bingo で Lesson 8 p.72 ~ p.75 の単語を復習する機会を作る。
- (9) Teacher talk で意識的に既習語を使い、生徒が学習した語彙を聞いて復習する機会を作る。
- (10) 語彙がある程度まとまったら英語コンテストを行う。単語のつづりを書かせるのではなく、認知語彙をテストする。50 語の Spelling test をするより 100 語の認知テストをする方が量を学習できるという発想である。

【テスト例】

次の英語の意味を下から選び数字で答えなさい。

- () children () child () danger
 () sign () seen () field () just
 () kill () landmine

1. 子供 2. 子供たち 3. ちょうど
 4. 殺す 5. 地雷 6. 見える, 見えた
 7. 野原 8. 標識 9. 危険

ただし 100 語の意味を 100 の選択肢から選ぶのではなく、テスト例のように 9 語の意味を 9 の選択肢から選ぶように出題し、計約 100 語の単語の意味を選ばせる。

2. 語彙指導の結果は？

このような方法で 2 年間指導した生徒たちの英語力はどうか？ (前任校での結果)

●都コミュニケーション・テスト*本校 2 年生の結果 (平成 17 年 12 月実施 東京都中学校英語教育研究会・調査部作成)
 【達成率】(各 20 点)

語彙力	文法力	書く力	読む力	聞く力
90.5%	83.5%	72.5%	75%	82.5%

【分野別】

	語彙力	文法力	書く力	読む力	聞く力	合計
本校平均点	18.1	16.5	14.5	15.0	16.5	80.6
都平均点	16.9	16.0	13.4	13.6	14.9	74.7

●中学 2 年生対象の都学力調査 同 2 年生の結果 (平成 18 年 2 月実施 東京都教育委員会作成)

【技能別】

	聞く力	読む力	書く力	計
本校平均点	74.1	85.1	78.7	79.7
都平均点	63.9	79.3	72.4	72.3
区平均点	61.6	78.6	69.4	70.5

【観点別】

	意欲	表現	理解	言語
本校平均点	91.0	67.6	74.6	86.0
都平均点	89.0	64.2	64.3	79.4
区平均点	88.9	59.3	62.2	78.0

2 種類のテストのどの分野でも都平均点を上回っていた。語彙のリサイクルが英語力に影響していると考えたい。

*東京都中学校英語教育研究会・調査部が毎年、中学 2 年生と 3 年生を対象に作成しているテスト。根岸雅史先生 (東京外国語大学) に助言を受けながら作成している。生徒 1 人 280 円の費用で希望校が参加できる。毎年の参加者数は約 1 万人。

【参考文献】

Nation, I. S. P. (2001) *Learning Vocabulary in Another Language*. Cambridge: Cambridge University Press.